

## 2019 年度から適用する点検項目の判定規則の変更について

2018 年 7 月 31 日

一般社団法人 日本技術者認定機構

一般社団法人日本技術者認定機構（JABEE）では、2019 年度から適用する認定基準の改定に合わせて、審査の手順と方法に関しても改善のための検討を行ってまいりました。このたび、プログラム点検書及び審査報告書の点検項目ごとの判定欄への記入内容及びその表す意味を、以下の通り変更することにいたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 判定方法の変更

変更後：3 段階（「満足」（S）、「弱点」（W）、「欠陥」（D））

変更前：4 段階（「適合」（A）、「懸念」（C）、「弱点」（W）、「欠陥」（D））

変更後の各評価の表す意味は以下の通りです。

- 満足(S)：認定基準を満たしている。  
※認定基準への適合性を高めるために何らかの改善が望ましい状況である場合を含み、変更前の A 判定及び C 判定に相当する。
- 弱点(W)：当該点検項目又は点検大項目が現時点では認定基準をほぼ満たしているが、その適合の度合いを強化するために迅速な対処を必要とし、プログラムが実施している継続的改善を一段と強化・加速することが要求される。
- 欠陥(D)：認定基準を満たしていない。

### 2. 認定・審査の手順と方法の変更

#### (1) 中間審査項目の範囲

変更後：前回審査において W 判定（場合によっては D 判定）とされた点検項目のみ

変更前：前回審査において W 判定（場合によっては D 判定）とされた点検項目及び

それに関連して C 判定とされた点検項目（最終審査報告書では[C]と表記）

#### (2) S 判定におけるプログラム点検書、審査報告書の根拠・指摘事項への記入内容

優れた内容として特筆すべき内容や、認定基準への適合性を高めるために何らかの改善が望ましい内容を記載する。

### 3. 変更の理由・目的

2019 年度認定基準改定の目的の一つである、「教育機関および JABEE 双方の審査の負担を軽減し審査の質の向上につなげる」に資するよう、審査方法を見直したものです。現状の A 判定及び C 判定はいずれも認定基準を満たしています。一方、A と C に区別さ

れた判定結果の活用の状況と、その区別に関する自己点検および審査の労力は必ずしもバランスがとれていないことが教育機関や審査チームへのアンケート等から明らかとなってきました。このため、A判定とC判定を統合してS判定とすることにより、審査の負荷軽減と質向上につなげることを目指します。

#### 4. 変更適用年度

2019年度の認定・審査から適用いたします。

以上